

第三次四国中央市総合計画基本構想（案）  
新旧対照表

修正後（新）	修正前（旧）
<p>P28 （1）環境資源を未来へ残すまちづくり</p> <p>水をはじめとする資源・エネルギーにより紙のまちとして成長してきた本市にとっては、<u>地球温暖化などの地球規模での問題についても、真摯に向き合い、取り組んでいく必要があります。</u></p> <p>P29 （4）生涯安心して暮らせるまちづくり</p> <p>また、安心して妊娠から出産、子育てができる応援体制を整え、子どもを<u>産み育てることの喜びや楽しさを実感できる</u>まちづくりに取り組みます。</p> <p>P29 （6）ともに築く持続可能なまちづくり</p> <p>市民の暮らしを巡る課題が多様化・複雑化する中、<u>市民と議会、行政が補完し合い、課題解決に向けて協力していく</u>市民協働によるまちづくりを推進するとともに、市民が主体的に活動する地域コミュニティの育成に取り組みます。</p> <p><u>また、市民に親しまれる市役所を目指し、ICTの導入などデジタル技術を活用した業務改革を行い、市民サービスの向上を図るなど、効率的・効果的な行政運営に取り組みます。</u></p> <p><u>シティプロモーション等によるUターン促進など、人口減少・少子化対策にも積極的に取り組むとともに、長期的な視点で公共施設の適正な管理・活用を図るなど、合理的で健全な財政運営を推進し、時代のニーズに答えられる持続可能なまちを目指します。</u></p>	<p>P28 （1）環境資源を未来へ残すまちづくり</p> <p><u>地球温暖化などの地球規模での問題は、水をはじめとする資源・エネルギーにより紙のまちとして成長してきた本市にとって、重要な課題です。</u></p> <p>P29 （4）生涯安心して暮らせるまちづくり</p> <p>また、安心して妊娠から出産、子育てができる応援体制を整え、子どもを<u>産み育てたくなる</u>まちづくりに取り組みます。</p> <p>P29 （6）ともに築く持続可能なまちづくり</p> <p>市民の暮らしを巡る課題が多様化・複雑化する中、<u>課題解決に向けて市民と行政が話し合い、お互いが新たな役割を見出す市民協働によるまちづくりを推進するとともに、市民が主体的に活動する地域コミュニティの育成に取り組みます。</u></p> <p><u>市民に信頼される市役所を目指し、多様化する市民ニーズに柔軟に対応できる機能的な組織体制の構築を図るとともに、ICTの導入などデジタル技術を活用して、業務を見直し、市民サービスの向上を図るなど、効率的・効果的な行政運営に取り組みます。</u></p> <p><u>また、公共施設マネジメントの推進により、長期的な視点で公共施設の適正な管理・活用を図るなど、合理的で健全な財政運営を進めます。</u> <u>これらの取り組みにより、時代のニーズに答えられる持続可能なまちを目指します。</u></p>